

## 令和6年度福島支部定時総会 議事録

令和6年6月12日

福島支部副支部長

渡邊 毅

日 時 令和6年5月25日（土） 午後3時より

場 所 郡山ビューホテル 福島県郡山市中町3-1（024-924-1111）

出席者8名 委任状9名 合計17名（現会員28名）

黙祷 開会に先だち、昨年亡くなられた物故会員に対し黙祷を行いました。

郡山市 野田浩 様 （逝去日 令和5年11月30日） 享年75歳

### 1 開会の辞

和田聡史副支部長が述べました。

### 2 支部長挨拶

昨年逝去された幹事の野田浩会員に対してのお悔やみと御礼をのべられ、また最近の退会会員の続出していることに関して危機感を覚えている点についての話がありました。

昨年度の総括では、全国総会で濱田前支部長の功労賞受賞、豊洲校舎見学で富山支部との交流、支部の機関誌「支部だより」の発行でいわきの学生プロジェクトの紹介が出来た事を取り上げました。

### 3 来賓祝辞

芝浦工業大学理事・事務局長 丁龍鎮様より

3年後の創立100周年を見据え、豊洲校舎に設けた創設者「有元史郎」記念館の紹介と、大学のあゆみを綴った動画により、創設者「有元史郎」の歴史と、その意思を引き継ぎ大学施設の増設や、戦中戦後の学生の活躍、学校法人化し海外への飛躍を目指し単科大学で日本では初めてスパークグローバル大学に選定されたこと、歴代の学生スポーツでの活躍や近年の箱根駅伝への出場、日本初のシステム理工学部の新設などを、現在の母校の状況を説明いただきました。

芝浦工業大学校友副会長 新井剛様より

今年度の全国総会は36人の新卒業生も参加する大会なので期待してほしい件と、今年度から学科制から課程性に移行し、2026年にはシステム理工学部が大型改組となる事をご紹介いただきました。特に女子学生に人気の大学となり3年後には30%を目指している状況であることと、県内出身受験者数は一都三県を除いて9番目、従って卒業生も増えていく状況なので、貴支部にも次の世代を呼び込んでほしいとの要望をいただきました。

芝浦工業大学後援会東北支部 副部長 佐藤正樹様より

東北支部の役割の紹介と説明、現在の東北6県出身の学部院生286名のうち、福島県からは70名が学んでおり、後援会として今後とも支援していく所存であるとお話をいただきました。

4 議長選出

柳沼仁克幹事が議長に選任されました。

5 議事

1). 令和5年度事業報告

副支部長渡邊毅より、配布資料にて報告しました。

全会一致にて承認されました。

特に別冊の補足資料を用いメールと手紙を手段として行っている継続で実施している会員数拡大活動に関して、プロジェクターを用いての説明がありました。

2). 令和5年度決算報告

副支部長渡邊毅より、配布資料にて報告しました。

全会一致にて承認されました。

3). 令和5年度会計監査報告

監査の濱田英晴氏が欠席のため、副支部長渡邊毅より濱田氏の監査報告を代読し

全会一致にて承認されました。

4). 令和6年度事業案

樋口支部長より、1. 地域交流活動の実施 2. 会員数拡大活動 3. 大学への支援の説明がありました。

1の地域交流活動は、学生プロジェクトとの連携。

この「学生プロジェクト」とは大学の資金援助を得て行われる活動（社会貢献部門）の一つです。東日本大震災後から、県内のいわき市勿来町の町おこしを継続して支援しています。当支部がその活動と連携することにより、若い会員募集時の当支部紹介ツールの一つとなる事が期待できます。しかし、この学生プロジェクトは、今年度から大学側の資金援助がなくなりました。そこで当支部は今年、その活動に関して財政的な支援と、その活動の拠点「交流スペース勿来」の訪問を計画しています。

2の会員数拡大活動は、卒業生に対して勧誘のためのDMと手紙の送付を継続して行います。

3の大学への支援は、箱根駅伝へ出場する駅伝部への寄付金支援です。

以上3つの事業案については、全会一致にて承認されました。

5). 令和6年度予算案

副支部長渡邊毅より、配布資料にて説明しました。

全会一致で承認されました。

6). その他

持ち寄り議題

樋口支部長より、監査の欠員の件で提案がありました。

昨年逝去された監査の野田浩会員の代わりに幹事の服部庄一氏を選出することを、本人了解のもと全会一致で承認されました。

6 議長解任

柳沼仁克幹事が議事の終了と共に、議長退任を宣言しました。

7 閉会の辞

渡邊毅副支部長が述べました。